



# 安全データシート

会社名 株式会社三和ケミテック  
住所 愛知県名古屋市中区丸の内3丁目1-28  
担当部門 商品管理部  
担当者 原 育三  
TEL番号 052-961-0481  
FAX番号 052-961-0485

令和7年12月1日

製品名(化学名、商品名等) 67.5%硝酸 英名: Nitric Acid

## 危険有害性の要約

### GHS分類

爆発物	: 分類できない
可燃性ガス	: 区分に該当しない
エアゾール	: 区分に該当しない
酸化性ガス	: 区分に該当しない
高压ガス	: 区分に該当しない
引火性液体	: 区分に該当しない
可燃性固体	: 区分に該当しない
自己反応性化学品	: 分類できない
自然発火性液体	: 区分に該当しない
自然発火性固体	: 区分に該当しない
自己発熱性化学品	: 分類できない
水反応可燃性化学品	: 区分に該当しない
酸化性液体	: 区分3
酸化性固体	: 区分に該当しない
有機過酸化物	: 区分に該当しない
金属腐食性物質	: 区分1
鈍性化爆発物	: 分類できない
急性毒性(経口)	: 分類できない
急性毒性(経皮)	: 分類できない
急性毒性(吸入-ガス)	: 区分に該当しない
急性毒性(吸入-蒸気)	: 区分2
急性毒性(吸入-粉塵及びミスト)	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: 区分1A
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分1
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 区分1A
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 区分1(呼吸器系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 区分1(呼吸器系、歯)
誤えん有害性	: 分類できない
水生環境有害性 短期(急性)	: 区分3
水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分3
オゾン層への有害性	: 分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語  
危険有害性情報

危険  
：火災助長のおそれ；酸化性物質  
金属腐食のおそれ  
吸入すると生命に危険(ミスト)  
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷  
発がんのおそれ。  
呼吸器系の障害  
長期または反復曝露による歯、呼吸器系の障害  
水生生物に有害  
長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。  
他の容器に移し替えないこと。  
衣類及び可燃物から遠ざけること。  
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。  
禁煙。  
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
この製品を使用するとき、飲食または喫煙をしないこと。  
環境への放出を避けること。  
取り扱い後は、顔、手、および露出した皮膚を全てよく洗うこと。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
換気が不適切な場合は呼吸保護具を装着すること。

【応急措置】

火災の場合には、消火するために適切な消火剤を使用すること。  
物的被害を防止するため流出したものを吸収すること  
皮膚/髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。  
皮膚を水またはシャワーで洗うこと。  
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクト  
レンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄  
を続けること。  
吸入した場合、被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい  
姿勢で休息させること。  
飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。  
ばく露またはばく露の懸念がある場合、直ちに医師に連絡して、  
診察/手当てを受けること。  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

【保管】

耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。  
容器を密閉して、換気の良い場所で施錠して保管すること。

【廃棄】

国及び地方自治体(都道府県市町村)の規則に従って、  
内容物/容器を適切に廃棄すること。

## 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 混合物

成分名称	CAS番号	濃度(%)	化審法番号	安衛法番号
硝酸	7697-37-2	60以上～70未満	(1)-394	公表化学物質
亜硝酸	7782-77-6	0.1未満	(9)-2474	公表化学物質
水	7732-18-5	30以上～40未満	非該当	非該当

### 危険有害成分

化学名	CAS番号	含有量(% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
硝酸	7697-37-2	60以上～70未満	1-394

## 応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
呼吸が困難な場合あるいはチアノーゼが認められた場合には酸素吸入を行う。  
呼吸が停止した場合には、人工呼吸を施す。  
口対口法を用いてはならない。  
鼻、口、喉を水でゆすぐ。  
体を毛布などで覆い、保温する。  
直ちに医師の診察/手当てを受けること。  
もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らないよう頭部を下げる。  
物質へのばく露の影響が遅れて出てくることもある。経過観察をする必要がある。

皮膚に付着した場合 : 多量の水で洗うこと。  
洗浄しながら、直ちに患部に付着してない汚染された靴と服を取り除く。  
直ちに医師の診察/手当てを受けること。  
チアノーゼが認められた場合には、酸素吸入を行う。  
物質へのばく露の影響が遅れて出てくることもある。経過観察をする必要がある。  
傷害を生じた皮膚に不必要に触れない。  
清潔な木綿布またはガーゼで覆う。  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合 : 目をこすってはならない。  
瞼を開いた状態に保つ。  
できるだけ早く水で洗い始め、数分間注意深く洗う。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
その後も洗浄を続けること。  
直ちに医師の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。  
無理に吐かせないこと。  
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
体を毛布などで覆い、保温する。  
直ちに医師の診察/手当を受けること。  
もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が入らないように頭部を下げる。  
呼吸が困難な場合あるいはチアノーゼが認められた場合には、酸素吸入を行う。  
呼吸が停止した場合には、人工呼吸を施す。  
口対口法を用いてはならない。  
物質へのばく露の影響が遅れて出てくることがある。経過観察をする必要がある。

#### 応急措置をする者の保護

: 救助の際は保護具を着用する。  
人工呼吸には、逆流防止バルブのついたポケットマスクや他の適切な医療用呼吸器を用いる。  
口対口法を用いてはならない。  
救助者は、救助の最中、自身の危険にも注意する。  
本製品が発がん性物質を含むことに注意する。

---

## 火災時の措置

消火剤 : 本製品は不燃物のため、本製品に対する消火剤は決定できない。

#### 使ってはならない消火剤

: 棒状水

特有の危険有害性 : 漏出すると火災・爆発の危険性がある。  
可燃物を発火させるおそれがある。  
混触危険物質と接触すると火災や爆発の危険性がある。  
加熱されると、製品が入ったボンベ/容器が突然爆発したり、飛散するおそれがある。  
外部火災の熱によって、容器内で急激に分解して、容器の破裂に至るおそれがある。  
混触危険物質に留意して、適切な冷却手段にて容器を冷却する。  
燃焼ガスまたは分解ガスには、刺激性、腐食性または毒性のガスが含まれるおそれがある。  
消火水中に有害物が含まれ、環境や生物に影響を与えることがある。

特有の消火方法 : 危険でなければ漏れを止める。  
ボンベ/容器の破裂等の危険が推定される温度を超えそうな場合は、危険な温度に到達する前に、直ちに退避する。  
風上から作業する。  
関係者以外の立ち入りを禁止する。  
消火は有効に行える最も遠い距離から、モニター付ノズル等を活用し無人化を図る。  
周辺の他の未燃可燃物の防護について、可能かつ安全ならば、ボンベ/容器を移動させるか、散水などで冷却する。

外部火災からの製品防護について、可能かつ必要がある場合は、製品の入ったボンベ/容器を安全な場所に移動させ、周辺設備と共に水等で冷却する。  
消火に用いた水は堰を作って囲い、環境に配慮した上で廃棄する。  
物質がちらばらないようにする。  
消火後も大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護：周辺火災に適応した、各国、地域で規定された標準の全身保護衣および空気式呼吸器(SCBA)を着用する。

---

## 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ：換気が不適切な場合は呼吸保護具を装着すること。
- 適切な保護具を着用して、飛沫等の眼または皮膚への付着やミストまたは蒸気の吸入をしないようにする。
- 風下の人を退避させ、風上から作業する。
- 関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 周辺環境に、影響(健康被害を含む)を及ぼすおそれがある場合は、周辺の居住者に警告する。
- 大きな安全地帯を設定する。
- 大量の場合、噴霧散水は蒸気濃度低減に有効なことがある。
- 排水溝、下水溝、地下室、くぼ地あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

環境に対する注意事項

- ：環境中に放出しないこと。
- 漏出物が水系(河川や下水など)に流入して環境への影響を起こさないように、堤を作って堰止める。
- 悪臭または刺激臭が強いので、周辺の住民に漏出したことの通報をするなどの、適切な措置を行う。

封じ込め及び浄化の方法・機材

- ：速やかに回収する。
- 危険でなければ漏れを止める。
- 漏出物を密閉式の容器にできる限り集める。
- 広がらないように堰を作り、後で廃棄する。
- 水系(河川や下水など)へ拡散しないように、速やかに堤を作って堰止める。
- 残留液を乾燥した土、砂や不燃性材料で吸収させ安全な場所に移す。
- 少量漏出の場合、専門家の指導で漏洩物をアルカリで注意深く中和する。多量の水で洗い流す。
- 全量を回収する。
- 可燃物を漏出物から隔離する。
- 漏洩または漏出物を回収する場合は、専門家のアドバイスを求める。
- 残留分を注意深く集め、安全な場所に移す。
- 回収作業は、安全取り扱い措置をした上で実施すること。
- 廃棄方法は「廃棄上の注意」を参照。

## 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

: 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。  
禁煙。  
ミストの発生を防止する。  
漏洩ばく露に備えて、風上から作業する。  
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。  
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
設備対策を行い、保護具を着用する。  
ミスト/蒸気を吸入しないこと。  
眼や口に入れない、また皮膚につけない。  
眼、皮膚、衣服への接触を避ける。  
休憩場所には、汚染された保護具を持ち込まないこと。  
皮膚・粘膜に触れたり眼に入らないように適切な保護具を着用する。  
可能な限り、使い捨ての保護衣を着用する。  
汚染された作業衣は適切な方法で廃棄または洗浄・再利用すること。  
汚染された保護衣は安全な方法で廃棄すること。

局所排気、全体換気：局所排気または全体換気を行う。

安全取扱注意事項：混触危険物質から離しておく。

吸入を避ける。

#### 衛生対策

: 使用前に取扱説明書を入手すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
密閉系で取り扱えない場合は、屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
本製品を吸入してはならない。  
ヒトへのあらゆるばく露を避けること。  
皮膚及び眼との接触を避けること。  
眼や口に入れない、また皮膚につけない。  
この製品を使用する時に、飲酒または喫煙をしないこと。  
汚染された作業衣は適切な方法で廃棄または洗浄・再利用すること。  
汚染された保護具、作業衣等を処分する際は、周辺環境を汚染することがないように適切な方法を用いること。  
取り扱い後は、顔、手、および露出した皮膚を全てよく洗うこと。

#### 安全な保管条件

: 保管場所には、必要な採光または照明及び換気の設備を設ける。  
施錠して保管すること。  
食品、飲料水、動物の餌から離しておく。  
耐腐食性/耐腐食性内張りのある容器に保管すること。  
直射日光を避ける。  
冷所に保管。  
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
排水管や下水管へのアクセスのない場所で貯蔵する。  
「安全性及び反応性」を参照。

安全な容器包装材料：適した材料について、情報なし。

適さない材料について、情報なし。

国連輸送勧告が指定する容器を使用すること。

## 曝露防止及び保護措置

作業環境における成分別ばく露限界/許容濃度

成分	CAS番号	指標(ばく露形態)	管理濃度/許容濃度	出典
硝酸	7697-37-2	OEL-M	2ppm 5.2 mg/m <sup>3</sup>	日本産業衛生学会(許容濃度)
		TWA	2ppm	ACGIH
		STEL	4ppm	ACGIH

設備対策 : 吸収装置を備えた局所排気装置または全体換気装置を使用する。  
取扱場所に、手洗い設備、洗身洗眼設備を設ける。

呼吸用保護具 : 呼吸用保護具は、リスクアセスメントを実施した上で適切と判断された、使用地域で定められた規格に合致するものを必ず使用する。  
緊急時及び漏出時の措置では、空気呼吸器あるいは循環式酸素呼吸器(SCBA)を着用する。  
防毒マスク(酸性ガス用)

手の保護具 : 手の保護具は、リスクアセスメントを実施した上で適切と判断された使用地域で定められた規格に合致するものを必ず使用する。  
不浸透性保護手袋

眼の保護具 : 眼の保護具は、リスクアセスメントを実施した上で適切と判断された使用地域で定められた規格に合致するものを必ず使用する。  
安全ゴーグルまたは保護眼鏡と防災面

皮膚及び身体の保護具 : 個人用保護具(PPE)は、リスクアセスメントを実施した上で適切と判断された、使用地域で定められた規格に合致するものを必ず使用する。  
帽子、靴、合羽等を含む適切な不浸透性保護衣を着用する。

## 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体  
色 : 無色  
臭い : 刺激臭  
融点・凝固点 : -18℃  
沸点、初留点及び沸騰範囲 : 122℃  
可燃性 : データなし  
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界  
爆発範囲の上限/可燃上限値 : データなし  
爆発範囲の下限/可燃下限値 : データなし

引火点	: 不燃性
分解温度	: データなし
pH	: データなし
蒸発速度	: データなし
自然発火温度	: データなし
動粘度(動粘性率)	: データなし
溶解度	: 水…混和する : 溶媒…データなし
オクタノール/水分配係数	: データなし
蒸気圧	: 6.4 kPa(20°C)
比重	: 1.410(20°C)
密度	: データなし
相対ガス密度	: (空気=1.0)データなし
粒子サイズ	: データなし

## 安定性及び反応性

化学的安定性	: データなし
危険有害反応可能性	: 還元剤、可燃性物資、アルカリ…激しく反応するおそれ ゴムまたはプラスチック …激しく分解するおそれ 強塩基、還元剤、有機物、アミン、金属粉、可燃性物質 …火災や爆発のおそれ 金属 …可燃性ガスを発生し火災や爆発のおそれ
避けるべき条件	: 情報なし
混触危険物質	: 可燃性物質、強塩基、アルカリ、有機物 ゴムまたはプラスチック、金属、金属粉、アミン、還元剤
危険有害な分解生成物	: 窒素酸化物

## 有害性情報

可能性のあるばく露経路の情報  
: 経口、吸入、経皮、眼

### 急性毒性

<b>製品:</b> 急性毒性(経口)	: データなし
急性毒性(吸入)	: データなし
急性毒性(経皮)	: データなし

**成分：** 硝酸

…急性毒性(吸入) : LC50(ラット)…334ppm  
ばく露時間…30min  
標的臓器…利用可能な情報に基づく限り分類できない。  
備考…蒸気

(ヒト)

方法 : 疫学情報  
標的臓器 : 呼吸器系  
備考 : 粉塵、ミストおよび煙

皮膚腐食性/刺激性

**製品：** 備考 : データなし

**成分：** 硝酸

…種 : ヒト  
方法 : 疫学情報  
結果 : 腐食性あり

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

**製品：** 備考 : データなし

**成分：** 硝酸

…種 : ヒト  
方法 : 疫学情報  
結果 : 腐食性あり

呼吸器感作性又は皮膚感作性

**製品：** 試験タイプ : 呼吸器感作性  
備考 : データなし

試験タイプ : 皮膚感作性  
備考 : データなし

生殖細胞変異原性

**製品：** in vitro での遺伝毒性 : データなし  
in vivo での遺伝毒性 : データなし

**成分：** 硝酸

…in vitro での遺伝毒性  
: 試験タイプ : Ames試験  
テストシステム : ネズミチフス菌  
結果 : 陰性

#### 発がん性

<b>製品:</b>	備考	: データなし
<b>成分:</b>	硝酸	: IARC :1
	種	: ヒト
	投与経路	: 吸入
	方法	: 疫学情報
	結果	: 発がん性あり
	標的臓器	: 胃、精巣

#### 生殖毒性

<b>製品:</b>	妊娠に対する影響	: 備考	: データなし
	胎児の発育に対する影響	: 備考	: データなし

特定標的臓器毒性(単回ばく露)…急性毒性(「有害性情報」)を参照

#### 特定標的臓器毒性(反復ばく露)

<b>製品:</b>	備考	: データなし
<b>成分:</b>	硝酸	
	…種	: ヒト
	投与経路	: 吸入
	方法	: 疫学情報
	標的臓器	: 呼吸器系
	種	: ヒト
	投与経路	: 吸入
	方法	: 疫学情報
	標的臓器	: 歯

#### 誤嚥有害性

<b>製品:</b>	データなし
------------	-------

---

### 環境影響情報

#### 生態毒性

<b>製品:</b>	魚毒性	: 備考	: データなし
	ミジンコ等の水生脊椎動物に対する毒性	: 備考	: データなし
	藻類/水生生物に対する毒性	: 備考	: データなし
	魚毒性(慢性毒性)	: 備考	: データなし
	ミジンコ等の水性脊椎動物に対する毒性(慢性毒性)	: 備考	: データなし

#### **成分:** 硝酸

…魚毒性	: LC50(魚類)	: 72mg/l
ミジンコ等の水性脊椎動物に対する毒性	: EC50(ミジンコ)	: 490-3581mg/l
	: 備考	: 本情報は、類似する物質から得られたデータに基づく。



航空輸送(IATA-DGR)

UN/ID番号(UN/ID number) : UN 2031  
国連輸送名(Proper shipping name)  
: Nitric acid  
国連分類(Class) : 8  
副次危険性(Subsidiary risk)  
: 無し(硝酸65%未満)  
5.1(硝酸65%以上70%未満)  
容器等級(Packing group) : II  
ラベル(Labels) : Corrosive(硝酸65%未満)  
Corrosive, Oxidizer (5.1) (硝酸65%以上70%未満)  
梱包指示(貨物機)  
(Packing instruction (cargo aircraft)) : 855  
梱包指示(旅客機)  
(Packing instruction (passenger aircraft)) : 輸送は許可されていない

海上輸送(IMDG-Code)

国連番号(UN number) : UN 2031  
国連輸送名(Proper shipping name)  
: NITRIC ACID  
国連分類(Class) : 8  
副次危険性(Subsidiary risk)  
: 無し(硝酸65%未満)  
5.1(硝酸65%以上70%未満)  
容器等級(Packing group) : II  
ラベル(Labels) : 8(硝酸65%未満)  
8(5.1) (硝酸65%以上70%未満)  
EmSコード(EmS Code) : F-A, S-B(硝酸65%未満)  
F-A, S-Q(硝酸65%以上70%未満)  
海洋汚染物質(Marine pollutant)  
: 非該当  
MARPOL 73/78 附属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質  
: 供給された状態の製品には非該当  
緊急時応急措置指針番号 : 157

国内規制

国の特定の法規制は、項目15を参照する。

特別の安全対策

備考 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がない事を確認する。  
転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を  
確実に行う。  
車輜、船舶には保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を備える他  
緊急時の処理に必要な消火器、工具などを備えておく。

ここに提供されている輸送分類は、情報の目的だけのために、本安全データシートの中で解説されるように開梱された材料の特性のみに基づいています。輸送分類は、交通手段、パッケージサイズと地域や地方の規則の変更により、変更される可能性があります。

## 適用法令

### 関連法規

消防法 : 危険物、指定可燃物に該当しない。  
 化審法 : 特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

### 労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物 : 非該当  
 製造の許可を受けるべき有害物 : 非該当  
 健康障害防止指針公表物質 : 非該当  
 変異原性の認められた化学物質(既存化学物質) : 非該当  
 変異原性の認められた化学物質(新規届出化学物質) : 非該当

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第57条の2(施行令別表第9)

化学名	番号	含有量(%)
硝酸	307	60以上70未満

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第57条(施行令第18条)

化学名	番号
硝酸	307

特定化学物質障害予防規則 - 第3類物質

化学名
硝酸

鉛中毒予防規則 : 非該当  
 四アルキル鉛中毒予防規則 : 非該当  
 有機溶剤中毒予防規則 : 非該当  
 労働安全衛生法施行令-別表第一(危険物) : 非該当

毒物及び劇物取締法

化学名	政令番号
硝酸を含有する製剤	63

化学物質排出把握管理促進法 : 非該当  
 高压ガス保安法 : 非該当  
 火薬類取締法 : 非該当

### 船舶安全法

危規則第2, 3条危険物告示別表第一 : 腐食性物質

## 航空法

施行規則第194条危険物告示別表第一：腐食性物質

## 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律

ばら積み輸送：有害液体物質(Y類)

個品輸送：海洋汚染物質には該当しない

## 水質汚濁防止法

有害物質(法第2条、施行令第2条、排出基準を定める省令第1条)

## 廃棄物の処理及び清掃に関する法律

特別管理産業廃棄物

---

## その他の情報

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報に基づき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。

また、このSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。